



2025年5月15日

各 位

会 社 名 株式会社ファブリカホールディングス
代 表 者 名 代表取締役社長CEO 谷口政人
(コード番号：4193 東証スタンダード市場)
問 合 せ 先 取 締 役 C F O 岩 館 徹
(TEL 03-5544-9102)

特別損失（投資有価証券評価損）の計上及び
2025年3月期通期業績予想値と実績値との差異並びに
個別業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）において、特別損失（投資有価証券評価損）を計上いたしましたのでお知らせいたします。また、2024年5月15日に公表した2025年3月期通期連結業績予想と実績値に差異並びに個別業績と前期実績値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 特別損失（投資有価証券評価損）の内容

当社が保有する投資有価証券について、投資先の純資産の減少により簿価と比較して実質価額が著しく下落し、その回復可能性が認められないことから、減損処理による投資有価証券評価損360百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 連結業績予想値と実績値との差異について

(1) 2025年3月期通期業績予想数値と実績値との差異（2024年4月1日～2025年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	8,700	1,100	1,100	700	129円22銭
実績値 (B)	9,206	1,106	1,116	331	61円77銭
増減額 (B - A)	+506	+6	+16	△368	
増減率 (%)	+5.8	+0.6	+1.5	△52.6	

(2) 差異の理由

主力事業の1つである SMS ソリューショングループにおいて、国内 SMS 市場の堅調な拡大に伴い、法人向け SMS 配信サービス「メディア SMS」の配信数が好調に推移したことにより、オートサービスグループにおいて貸倒引当金が発生したものの、売上高、営業利益、経常利益は業績予想を上回りました。

一方で、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、特別利益として投資有価証券売却益を 113 百万円計上したものの、特別損失として上記に記載した投資有価証券評価損 360 百万円、AI・ブロックチェーン事業を行う連結子会社の(株)Sparkle AI が保有するソフトウェア等について減損損失 58 百万円を計上した結果、業績予想を下回る結果となりました。

3. 個別業績と前期実績値との差異について

(1) 個別業績の前期実績値との差異 (2024 年 4 月 1 日～2025 年 3 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期実績 (A)	3,360	△136	754	743	138 円 88 銭
当期実績 (B)	1,220	791	788	345	64 円 32 銭
増減額 (B - A)	△2,139	+928	+34	△397	
増減率 (%)	△63.7	-	+4.6	△53.5	

(2) 差異の理由

売上高につきましては、当社が 2024 年 4 月 1 日に純粋持株会社体制に移行し、当社の事業部門を会社分割により新たに設立した株式会社ファブリカコミュニケーションズに移したことから、減少いたしました。この変更に伴い、当社の収益構造は純粋持株会社体制移行以前のものとは異なっております。具体的には、当社の主な収益は、連結子会社からの配当および経営指導料となる一方で、主な費用は、純粋持株会社としての機能やコーポレート機能にかかるもののみとなったため、営業利益は前期比で大幅に増加しております。

当期純利益につきましては、投資有価証券の売却益を 113 百万円計上した一方で、投資有価証券評価損 360 百万円、連結子会社株式に対する減損損失を 99 百万円計上したことなどにより前期比で減少しております。

以 上